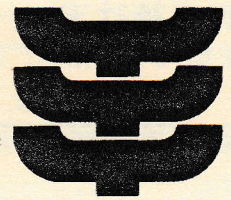
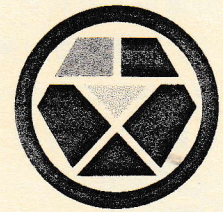


# ぶんかざい



文化財愛護シンボルマーク

# おおた



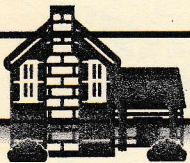
文化財保護強調週間  
Cultural Properties Protection Week

## 第19号

文化財は、わが国の歴史、文化等を正しく理解するために欠くことのできないものであると同時に、将来の文化の向上発展の基礎をなすものとされます。昭和25(1950)年、「文化財保護法」が施行されて、60年を経過し、社会構造や国民意識・価値観の変化など、文化財を取り巻く社会情勢も変化し、文化財保護の考え方や手法なども、年々、変わってきています。生活に密接に関係した民俗文化財や埋蔵文化財(遺跡)、伝統的建造物群などに加え、文化的景観や民俗技術、建造後50年を経過した近代化遺産なども文化財に加わるようになりました。

平成28(2016)年2月25日付け文部科学省告示第12号により、国登録文化財建造物に、(1)御嶽神社末社一山神社祖霊社、(2)御嶽神社水行堂、(3)御嶽神社社務所、(4)伊藤家住宅主屋の4棟が新たに加わりました。

今回の「ぶんかざいおおた」では、これらの文化財を紹介します。



## 新たに登録文化財となった建造物

### ★伊藤家住宅主屋

建築年代：昭和38(1963)年(工事請負契約書等による)

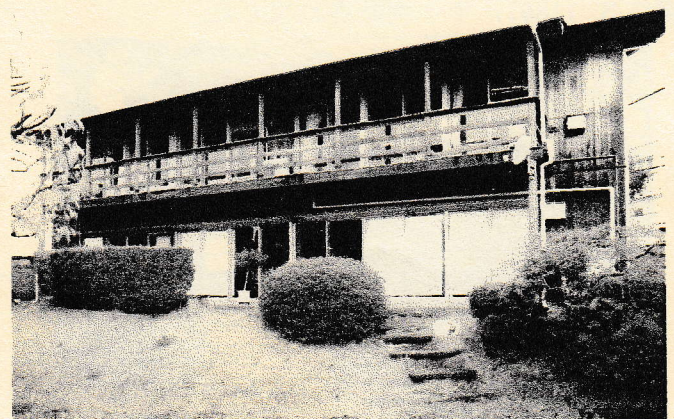
設計：レーモンド建築設計事務所

所在地：大田区東雪谷(個人住宅のため、通常は非公開)

斜面地にある三角形の敷地を活かし、南面からの採光を最大とするため、住宅の平面は台形となっています。鉄筋コンクリート造の車庫等の上部に木造二階建ての家屋は、南面の2階バルコニーと1階の大開口が印象的で、随所にレーモンド事務所設計の特徴が見られます。

当時の『建築文化』誌でもノエミ・レーモンド(アントニン・レーモンド夫人)の作品として紹介さ

れ、多くはノエミの設計になると伝えられます。

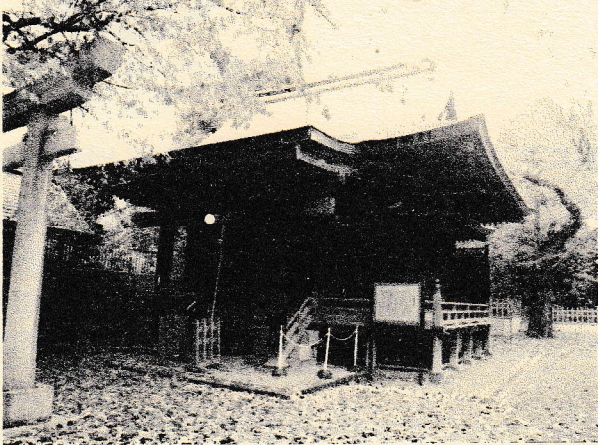


庭から望む南面外観

### ★御嶽神社末社一山神社祖霊社

建築年代：明治32（1899）年（向拝水引虹梁金物銘による）

御嶽神社を創建した一山行者を祀り、境内西方に南面して建ちます。東西棟の拝殿から丁字本殿を突出し、正面に一間向拝が設けられ、本殿は後方に祭壇を造り付け、手前を畳敷きの幣殿としています。拝殿は折上格天井とし、照明には洋風灯具が使用されています。簡素な意匠を持つ近代小規模社殿として評価されました。



### ★御嶽神社社務所

建築年代：昭和5（1930）年（棟札による）／昭和26（1951）年改修

境内西方に東面して建ちます。南北棟の社務所で、中央に起りのある切妻破風と入母屋屋根を架ける玄関が突き出しています。玄関の間の南には15畳の応接間を設け、東側に座敷飾りが設けられています。床に南洋材を用い、折上格天井を張って格式を高める良質な近代和風建築です。

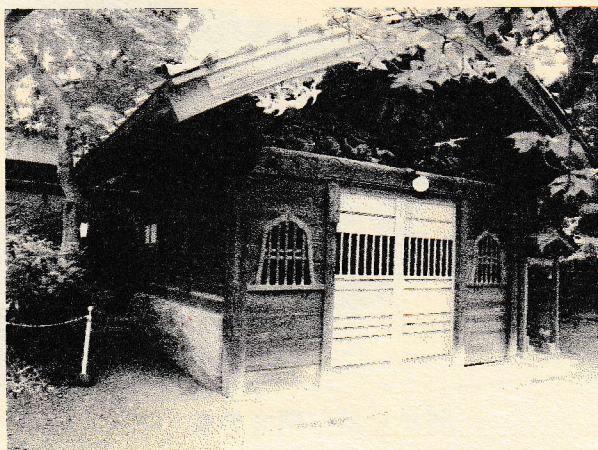


### ★御嶽神社水行堂

建築年代：慶応3（1867）年

境内西方に東面して建ちます。東西棟、切妻造妻入で、3間四方の内部を前後2室に区切っています。水垢離をするための施設で、内部に石造の井戸があり、井戸には明治5（1872）年の銘文が刻まれています。正面の両脇間に花頭窓を開け、頭貫を虹梁として、上部に龍の彫刻欄間を嵌めて飾られます。木鼻の形状などに時代的特徴が認められます。

建築年代は、扁額に刻まれる干支（丁卯）と明治9（1876）年奉納の境内図に描かれることから、慶応3（1867）年と判断されました。

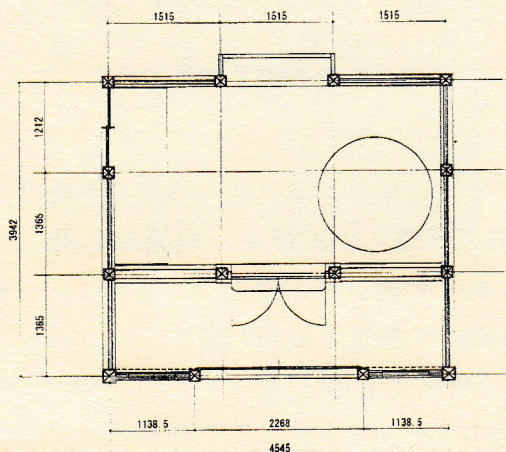


御嶽神社は、「木曾御嶽山関東第一分社」として関東各地に分布する御嶽講の信仰の中心となってきました。江戸末期に一山行者が御嶽山での修行中、神のお告げによって分霊を祀ったのが始まりとされます。

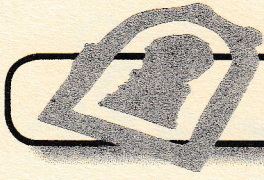
社殿は、天保2（1831）年建築と伝えられます。本殿周りに浦島太郎や養老の滝、司馬温公瓊割りなど和漢の物語・故事に因んだ彫刻が施され、「社殿彫刻」として区指定有形文化財（建造物）となっています。彫刻ばかりではなく江戸後期の優れた技術が見られます。

境内に残る文化財は、御嶽神社の歴史を物語ってくれるものです。

所在地：大田区北嶺町 37-20



水行堂平面図



# 埋蔵文化財調査報告

## ★山王横穴墓群の調査

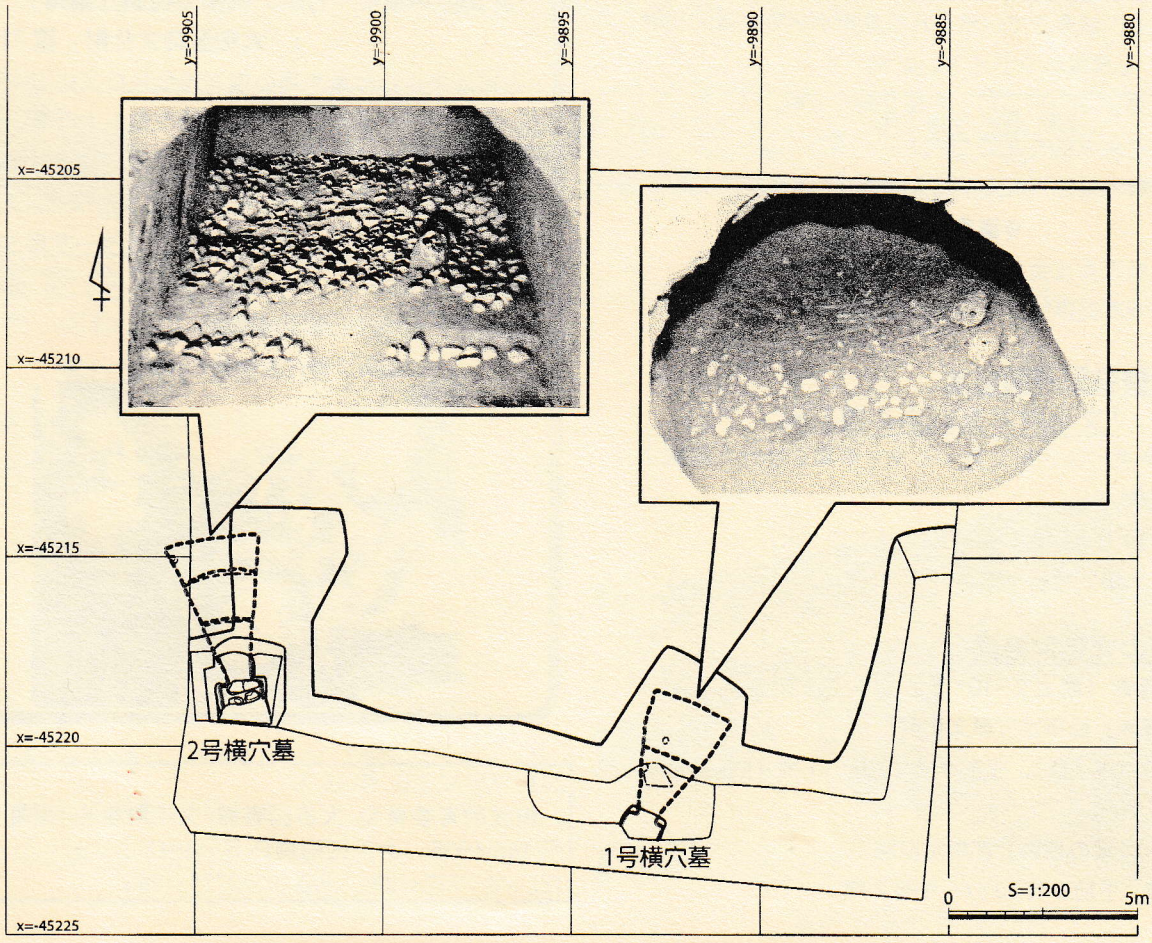
平成27年10月から28年1月にかけて、山王一丁目30番の建設工事に伴って発見された横穴墓<sup>よこあなぼ</sup>2基の発掘調査を実施しました。山王横穴墓群（大田区遺跡番号132）は、山王一丁目26～28番及び30番に所在し、ジャーマン通りの北側、南向きの斜面の中段に展開します。平成12年9月に区立山王小学校の校舎改築工事の際にも発見・調査されるなど、これまでに8基の横穴墓<sup>よこあなぼ</sup>が見つかり、人骨のほか、土師器<sup>はじまき</sup>や須恵器<sup>すえき</sup>などの土器が出土しています。

今回調査した2基の横穴墓は、谷の地形に沿って円を描くように並んで発見されました。関東ローム層を深く掘り込んでつくられています。東側の1号墓は、残存長3.29m・奥壁幅2.16m・最大高1.52mをはかり、徳利を半分にしたような形をしています。2号墓は、残存長4.46m・

奥壁幅2.53m・最大高1.72mをはかり、1号墓に比べると側壁が直線的で、羽子板のような形をしています。どちらもアーチ形の天井をしており、壁面は丁寧に加工されています。遺体を安置した玄室<sup>げんしつ</sup>の床面には、小さな川原石が敷きつめられていました。

1号墓には、人骨3体が、頭を東側に向けて、仰向けに並んで安置されていました。2号墓からも複数の人骨が検出されています。いずれの横穴墓からも、刀剣や装飾品などの副葬品<sup>ぞんじょうひん</sup>は出土しませんでした。1号墓の前庭部（入口）の床面から炭化物が見つかり、お墓の前で何らかの儀式を行っていた可能性が考えられます。

これらの横穴墓は、形状などからみて、西暦7世紀末から8世紀前半頃までの比較的新しい時期につくられたと考えられます。隣接する横穴墓から複数の人骨が見つかったことで、葬られた人々の血縁関係などの解明が期待できます。



横穴墓の平面配置図と玄室から人骨が発見された様子

# ご案内

## 東京文化財ウィーク

文化の秋、都内全域で文化財をより身近に感じていただくため、国・都指定文化財をお見せする公開事業のほか、各区市町村等による文化財に関連した企画事業が行われます。

大田区内では、次のような事業を行います。皆様のご参加をお待ちしています。

### ★企画事業

10月1日(土)～11月30日(水)

### ☆特別公開事業

10月29日(土)～11月6日(日)

## 文化財公開見学会

### ①「御嶽神社・建造物の魅力に触れる」★

区指定及び新たに国登録文化財となった御嶽神社の建造物を解説付きで見学します。

日 時：10月29日(土) 午後2時～4時

会 場：御嶽神社(北嶺町37-20)

講 師：川島智生氏(京都華頂大学教授)

問合せ先：教育委員会 文化財担当(郷土博物館内)

### ②「双盤念仏って何でしょう」☆

大田区矢口の延命寺で伝承される都指定無形民俗文化財「双盤念仏」を解説付きで見学します。

日 時：10月30日(日) 午後2時～4時

会 場：延命寺(矢口2-26-17)

講 師：坂本要氏(筑波学院大学教授・大田区文化財保護審議委員)

問合せ先：教育委員会 文化財担当(郷土博物館内)

※今泉延命寺双盤講による特別公開事業です。

## 文化財保護強調週間記念

### 「文化財写真パネル展」★

平成27年度の文化財に関する主な事業を写真と解説文で紹介します。

日 時：10月31日(月)～11月1日(火)

会 場：大田区役所1階ロビー

## 大田区内の文化財公開

### ①大坊本行寺(池上2-10-5)

・「法華経板木」都指定有形文化財

11月3日(木・祝)、午前9時30分～午後4時

当日、現地へ。

・「日蓮上人入滅の旧跡」都指定旧跡

通年公開 午前9時30分～午後4時

### ②池上本門寺(池上1-1-1)

・「本門寺五重塔」重要文化財(建造物)

外観のみ公開 午前9時～日没

・「池上本門寺宝塔」重要文化財(建造物)

外観のみ公開 午前9時～日没

・「奥絵師狩野家墓所」都指定史跡

通年公開 午前9時～日没

### ③多摩川台公園(田園調布1-63-1)

・「亀甲山古墳」国指定史跡

・「宝萊山古墳」都指定史跡

・「多摩川台古墳群」都指定史跡

通年公開 午前9時～午後4時30分

### ④大森 海苔のふるさと館(平和の森公園2-2)

・「大森及び周辺地域の海苔生産用具」重要有形民俗文化財

通年公開 午前9時～午後5時

ただし、第3月曜(祝日の場合は翌日)及び年末年始を除く。

6～8月は午後7時まで。

## 東京文化財ウィークガイドブックの配布

特別公開・企画事業や通年公開の日程や内容等が掲載された冊子です。

配布場所：郷土博物館

※数に限りがあります。配布終了の際は、ご了承ください。

### 最新刊行物 販売中!

### 「大田区の祭り・行事、民俗芸能調査集録」

### (「大田区の文化財」第41集)

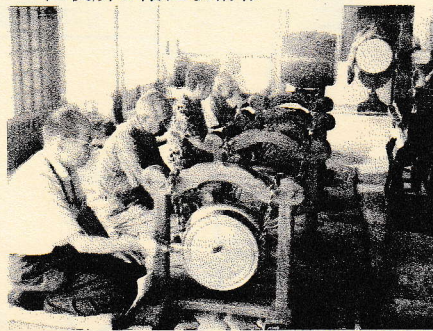
大田区あるいは東京都の指定無形民俗文化財をはじめ、区内で伝承されてきた伝統的な祭りや行事、民俗芸能の現状を記録した調査報告書です。文化財公開見学会「双盤念仏」についても、収録しています。

規 格：64ページ、口絵4ページ(カラー写真12点)

販売価格：700円

販売場所：大田区立郷土博物館

区役所2階区政情報コーナー



2016(平成28)年10月

大田区教育委員会 大田図書館 文化財担当 編集・発行  
〒143-0025 大田区南馬込5-11-13

TEL:03-3777-1281 FAX:03-3777-1283